

トライアル・サウンディング



提言書

令和 6 年12月16日
総務常任委員会

令和6年度 総務常任委員会は
「トライアル・サウンディング」を
提言します。

目次

第一章

トライアル・サウンディング

P 3

第二章

寒川町の課題

P13

第三章

議員間討議

P15

第四章

提言

P 20

目次

第 1 章 トライアル・ サウンディング

第 2 章 課題

第 3 章 議員間討議

第 4 章 提言

トライアル・サウンディングとは

トライアル・サウンディング
から
公民連携事業の創出へ

トライアル・サウンディングとは、行政が活用を検討している敷地に対し、いきなりサウンディングや事業者募集を実施するのではなく、民間事業者が検討中の事業を、まずはトライアルで実施してもらう期間を設けるという制度。

第 1 章 トライアル・サウンディング



トライアルサウンディング

民間事業者の提案募集

公共施設の利活用方法に関する、斬新なアイデアやビジネスモデルを広く募集。

試行的な検討

実際に施設を活用した事業を、短期間で試行的に実施し、その効果や課題を検証。

第 1 章 トライアル・サウンディング

トライアル・サウンディングは以下のステップで、事業者募集からトライアル期間を通し、本格利用を開始している。

Step 1

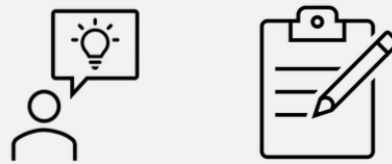
トライアル事業者の募集



自治体から行政が活用している敷地を使ってみたい事業者を募集

Step 2

トライアル期間



トライアル期間中に事業者からの改善点や評価を得ることができる。

Step 3

本格利用



成果のあった事業者と随意契約や公募で再度選定。

第 1 章 トライアル・サウンディング



目的

- 1 公共施設の利便性向上
地域住民にとってより魅力的で使いやすい施設を目指す。
- 2 収益化の可能性探求
施設の維持管理費を賄う新たな収益源を探索。

第1章 トライアル・サウンディング



トライアル・サウンディングの背景

- 1 老朽化**
公共施設は長年の使用により老朽化が進み、改修や維持管理費用が増加。
- 2 維持費増加**
老朽化に伴い、維持管理費用が膨大になり、財政負担が大きくなる。
- 3 ニーズの変化**
地域社会の多様化により、従来の公共施設では対応できないニーズが生じている。
- 4 持続可能性**
公共サービスを将来にわたって提供していくために、新たな財源確保や効率的な運営が求められ、トライアル・サウンディングの取り組みが全国で広がる。

第 1 章 トライアル・サウンディング

期待される効果

民間企業の参入

民間企業の創意工夫や専門知識を活かした公共施設の価値を向上。



地域活性化

地域住民のニーズに応じた施設運営や、イベント開催を通じた地域社会の活性化。



収益拡大

新たな収益源を創出し、公共施設の持続可能な運営の確保。



第 1 章 トライアル・サウンディング

先進事例として、様々な種類の活用があり、それぞれの土地の特色を生かした事業が開始されている。



常総市



あすなろの里

日本初のトライアル・サウンディングを実施。公園や研修場を活用。



宮崎市



あーみーろーど屋台村

街中を周遊する低速電動バス「ぐるっぴー」の発着所を活用し、お菓子や飲食を販売。



群馬県



県民広場

群馬県庁前の広場を活用、キッチンカーやナイトマルシェを実施。

第 1 章 トライアル・サウンディング

周辺市町村事例として、様々な種類の活用があり、それぞれの土地の特色を生かした事業が開始されている。

茅ヶ崎市



市役所前広場

平日休日とマルシェや大道芸など様々なイベントを実施。

藤沢市



庁舎内・公園・旧桔梗屋

公共施設（庁舎内だけでも複数）や国登録有形文化財を活用。

小田原市



小田原市役所前庭

区画を三つに分け、広大な市役所前庭を活用。

第 1 章 トライアル・サウンディング

公共施設の老朽化・維持費などの課題がある中で、**トライアル・サウンディング**を実施することで、公民連携の成果により公共施設の利活用へつながる。

実施前

公共施設の老朽化・維持費など財政硬直化の要因となる課題がある。

トライアル・
サウンディング前



実施後

老朽化で利用していない施設や、維持・管理費がかかる施設の利活用を公民連携により実施できる。

トライアル・
サウンディング後

目次

第 1 章

トライアル・
サウンディング

第 2 章

課題

第 3 章

議員間討議

第 4 章

提言

第2章 課題と対策

“財政の硬直化”

公共施設再編に係る課題と対策

現状の課題と対策

- 公共施設の維持管理費が自治体予算を圧迫し、運営費が固定的に発生している。
- 老朽化した公共施設の修繕費が増加しているだけでなく、全て公共施設を更新する財源がないため、複合化による稼働率の向上や費用の効率化が求められる。

“住民ニーズとの乖離”

公共施設の利活用に係る課題と対策

現状の課題と対策

- 従来型の公共施設は稼働率も低く、現代の多様なライフスタイルや価値観に対応できていない。
- コワーキングスペース、マルシェ、教室などの新しい利用スタイルに対応するが必要があり、施設の利活用が求められる。

目次

第 1 章

トライアル・
サウンディング

第 2 章

課題

第 3 章

議員間討議

第 4 章

提言

第 3 章

議員間討議

Step 1

課題の抽出

寒川町にある行政の課題を抽出する。
様々な課題がある中で、総務常任委員会が取り組むべき課題を抽出する。



議員間討議 テーマ選定

公共施設再編や施設の利活用に関して、トライアル・サウンディングの取り組みが町に必要ではないかとの意見により、トライアル・サウンディングの調査研究を令和6年度の議員間討議のテーマに選定。

Step 2

行政視察

先進地のトライアル・サウンディングを調査研究のため、行政視察先を奈良県奈良市に決定し、奈良市からトライアル・サウンディングの取り組みを学ぶ。

Step 3

提言書作成

奈良市で学んだことや、周辺市町村のトライアル・サウンディングの取り組みを調査研究し、寒川町役場内でどのようなトライアル・サウンディングを実施できるか議員間討議で議論し提言書を作成。

第 3 章 議員間討議

奈良市トライアル・サウンディングの取り組み

市道西大寺一条線では、令和4年度に芝生空間の整備を行った。

歩行者にとって利用しやすく、個性と魅力ある空間を創出し、訪れた人が居心地のよく歩きたくなるまちを実現するために、この空間の効果的な活用方法を探るトライアル・サウンディングを実施している。



第 3 章 議員間討議

奈良市トライアル・サウンディングの取り組み

奈良市では、「日常に公園のある暮らし」の実現に向け、まちなかに存在する様々な公共空間を日常の中にある公園のように活用する取組を進めている。

「奈良市役所東棟屋上」において、個性と魅力ある公共空間を創出し、地域コミュニティを活性化させる取組を実践する奈良市屋上トライアル・サウンディングを実施している。



奈良市役所屋上に芝生を敷き、遊具を揃え、トイレも設置された。トライアルサウンディング期間以外でも、子ども達が屋上で遊び、施設利用者の親子同士で交流の場が生まれる。利用者が日常から市役所屋上を利用でき、施設の稼働率も向上することにつながり、公共施設・空間の利活用の良い事例である。

第 3 章 議員間討議

奈良市トライアル・サウンディング視察後の議員間討議

行政視察前

公共施設・空間の利活用とは？

多様な住民ニーズに応えるには？

公共施設再編をどうするか？

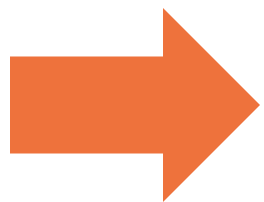


行政視察後

使用していない公共空間を利活用すべき

住民ニーズに応える取り組みが必要

屋上等も使用できる施設再編が望ましい



「トライアル・サウンディングの取り組みが必要」

目次

第 1 章

トライアル・
サウンディング

第 2 章

課題

第 3 章

議員間討議

第 4 章

提言

第 4 章 提言

令和 6 年度総務常任委委員会 議員間討議における結論

公共施設再編の課題解決には、 トライアル・サウンディングの取り組みに係る 調査研究が重要

現状の課題：寒川町では、町が所有管理する小・中学校や公民館などの公共施設や庁舎などの公用施設の多くは、昭和 40 年代後半から昭和 50 年代にかけて人口増加期にその多くが整備され、公共建築物の約 6 割が建築後 30 年以上経過して老朽化が進展し、今後多くの施設で建て替えなどの更新時期が一斉に到来することで、財政硬直化に直面することが予想される。

期待される効果：学校の統廃合や公共施設の複合化などの手法が検討される中で、公共施設を廃止する選択のみを残すのではなく、トライアル・サウンディングによって公民連携の手法を見出し施設を利活用できる可能性が期待される。

これらを踏まえ「トライアル・サウンディング」を提言する

1

公共施設・空間における トライアル・サウンディングの 調査研究

公共施設の利活用に係るトライアル・サウンディングの実施が必要である。

期待される効果：

- ・施設利用にかかる多様な住民ニーズに応えることができる。
- ・空いた公共空間を利活用することで施設稼働率が向上され、施設の定量的評価につながる。

これらを踏まえ「トライアル・サウンディング」を提言する

2

公共施設再編に係る トライアル・サウンディングの 調査研究

公共施設再編にはトライアル・サウンディングの実施を考えた施設再編が必要である。

期待される効果：

- ・施設再編に重要な複合化の取り組みの調査に役立つ。
- ・トライアル・サウンディングによって公民連携が促進される。

第 4 章 提言

トライアル・サウンディングを導入することで

公共施設・空間を提供することで多様な住民ニーズに応え、公共施設の利活用を促進し、施設の稼働率を上げることで施設の定量的評価につながる。

公共施設再編には複合化が必要な中で、公民連携が促進され財政の硬直化を緩和する取り組みになることが期待される。

住民満足度を上げることにつながり行政評価も向上する。住民も行政も共にトライアル・サウンディングの導入により恩恵を受けることができる。